

バランスシート

資産の部
有形固定資産は、土木費（四二・〇％）と教育費（三四・五％）に重点を置いて社会資本が形成されており、取得資産の増から減価償却を差し引くと九億八、八〇二万円減少しました。主な内容は、総務費で若草小学校校舎改築事業などです。

負債の部
投資等は、企業会計などへの出資金が増加したものの、土地開発基金を取り崩したことにより一五億三、二一四万円減りました。流動資産は、財政調整基金の積み立てなどにより二億四、二九九万円増加しています。

固定負債は、地方債残高の減少により一六億一、二二二万円減り、流動負債も五、七七三万円減少しました。

正味資産の部
資産を取得した財源は六億七二二万円減少し、国・道支出金とともに一般財源で賄われる比重が小さくなっています。

有形固定資産のうち、将来世代へ引き継がれる負債の負担割合を社会資本形成の世代間負担比率（負債／有形固定資産）と見ると、十七年度は前年度より〇・七ポイント減少して五二・二％となり、わずかではあります。将来世代の負担が減少しました。

バランスシートの中には、福祉などの行政サービスは算入されていません。

公債費比率が高水準、財政運営を圧迫

市税は税制改正の影響で若干増額が見込まれるものの、景気低迷を脱したとはいえ、税源委譲に伴う国庫支出金などの減、また交付税改革の動向もいまだ見えない中で、実質的な歳入の増加は見込めないのが現状です。公共施設建設に伴う維持・管理経費、また扶助費などによる負担増加が見込まれ、財政運営はますます難しくなっています

▶ 経常収支比率 一般財源（市税や地方交付税、地方譲与税など）に占める経常的経費（人件費、扶助費、公債費など）の割合で、前年度94.3%から1.0ポイント減少の93.3%で投資的経費に使う財源の割合は若干増えています。道内9市（人口10万人以上の都市）の平均より1.0ポイント高くなっています

▶ 公債費比率 一般財源に占める公債費（借入金の償還）の割合です。沼ノ端クリーンセンターをはじめ高丘霊葬場、緑陵中学校など大型建設事業の償還が続いており、ピーク時は越えましたが、前年度20.7%から0.8ポイント減少の19.9%で道内9市中3番目に高くなっており、財政健全化のためには、少なくとも借入金の返済額よりも借入額を少なくしていく必要があります

市民1人当たり
市債の残高 399,832円
（対前年度比較 13,953円減少）

「市債」とは、市が各種事業を行なうための長期借入金をことをいいます。金額は一般会計決算額を平成18年3月31日現在の人口（173,216人）で割ったものです

項目	金額
総務債	32億9,567万円
民生債	5億4,849万円
環境衛生債	109億3,813万円
労働債	640万円
農水産業債	2億6,301万円
商工債	3億0,846万円
土木債	261億1,432万円
消防債	1億1,993万円
教育債	114億0,105万円
災害復旧債	3,348万円
減税補てん債	56億6,420万円
臨時税収補てん債	8億8,637万円
臨時財政対策債	96億7,216万円
減収補てん債	560万円
合計	692億5,727万円
区画整理事業債	55億8,461万円
霊園事業債	4億3,588万円
水道事業債	142億9,394万円
下水道事業債	359億9,376万円
自動車運送事業債	1億2,103万円
市立病院事業債	123億4,398万円
土地造成事業債	1億1,250万円
市営住宅事業債	57億5,120万円
公設地方卸売市場事業債	4億5,905万円
合計	750億9,595万円
総額	1,443億5,322万円

平成十八年度上半期の予算執行状況

本市の十八年度上半期（四月から九月）の各会計の執行状況は表のとおりです。

厳しい経済情勢を踏まえ、工事などは可能な限り早期発注に努め、八六・八％、約七四億九、六六九万円を執行しました。

一般会計

ウトナイ小学校の校舎新築工事などを進めています。都市環境の整備では、糸井三号道線道路整備工事など、幹線道路の整備を進めています。また錦岡川、小泉の沢川の改修工事を進めています。

生活道路では、のぞみ九号線などの舗装新設工事を進めており、公園整備では、日の出公園の継続整備のほか、地域の街区公園では施設や遊具の更新などの整備を行っています。

特別会計

国民健康保険事業 医療費の予算一〇一億四、二七二万円に対し、四〇億二、三二二万円を支出、前年度同期に比べ二・〇％減少。

老人医療 前年度同期に比べ、受給者は四・三％、六六五人減少、支出

科目	予算現額	収入・支出済額	執行率(%)
市税	266億5,779万円	140億0,543万円	52.5
地方譲与税	22億7,500万円	8億5,979万円	37.8
地方消費税交付金	19億5,200万円	11億6,130万円	59.5
地方交付税	62億5,150万円	42億5,104万円	68.0
国庫支出金	84億2,275万円	36億9,073万円	43.8
道支出金	24億8,980万円	4億4,152万円	17.7
入諸収入ほか	247億2,132万円	24億5,018万円	9.9
合計	727億7,016万円	268億5,999万円	36.9
総務費	31億4,029万円	16億7,468万円	53.3
民生費	146億7,980万円	73億0,377万円	49.8
商工費	26億4,630万円	15億1,275万円	57.2
土木費	92億2,728万円	66億6,996万円	72.3
教育費	52億2,419万円	16億7,726万円	32.1
公債費	81億2,251万円	30億4,071万円	37.4
職員費	106億3,173万円	50億8,947万円	47.9
出諸支出金ほか	190億9,806万円	105億6,506万円	55.3
合計	727億7,016万円	375億3,366万円	51.6

会計名	予算現額	収入済額 支出済額	執行率(%)
国民健康保険事業	184億9,379万円	62億9,357万円 78億6,246万円	34.0 42.5
老人医療	147億9,730万円	63億9,488万円 62億3,139万円	43.2 42.1
沼ノ端鉄北 土地区画整理事業	46億1,873万円	33億9,327万円 36億7,223万円	73.5 79.5
職員退職手当基金	24億7,942万円	3億1,760万円 1億6,450万円	12.8 6.6
霊園事業	1億5,591万円	1,819万円 6,191万円	11.7 39.7
介護保険事業	74億0,866万円	29億0,574万円 28億3,499万円	39.2 38.3
合計	479億5,381万円	193億2,325万円 208億2,748万円	40.3 43.4

会計名	収入			支出		
	予算現額	収入済額	執行率(%)	予算現額	支出済額	執行率(%)
水道業	31億8,219万円	14億7,025万円	46.2	28億4,126万円	8億7,807万円	30.9
水道業	10億3,685万円	1,551万円	1.5	22億6,851万円	8億9,488万円	39.4
下水道業	41億7,727万円	20億6,197万円	49.4	38億8,512万円	12億5,253万円	32.2
下水道業	29億6,706万円	6億6,445万円	22.4	49億7,552万円	32億4,302万円	65.2
自動車運送事業	15億3,043万円	7億4,656万円	48.8	15億4,227万円	7億1,741万円	46.5
市立病院	77億4,831万円	37億1,921万円	48.0	83億3,947万円	36億4,701万円	43.7
市営住宅	45億2,916万円	1億3,179万円	2.9	48億7,653万円	39億9,976万円	82.0
土地造成事業	6億7,474万円	3億5,643万円	52.8	3億8,768万円	2億3,450万円	60.5
市営住宅	970万円	-	-	1億6,365万円	3,026万円	18.5
市営住宅	16億6,766万円	8億5,678万円	51.4	16億5,556万円	4億1,222万円	24.9
市営住宅	18億3,749万円	8億8,752万円	48.3	23億7,119万円	17億1,848万円	72.5
公設地方卸売市場	1億4,091万円	5,906万円	41.9	1億3,513万円	5,897万円	43.6
公設地方卸売市場	2,069万円	-	-	7,636万円	2,232万円	29.2
合計	191億2,151万円	92億7,026万円	48.5	187億8,649万円	72億0,071万円	38.3
合計	111億6,157万円	24億0,826万円	21.6	155億0,572万円	106億1,966万円	68.5

企業会計

水道事業 配水管整備と老朽管の布設替工事、高丘浄水場二号配水池改良工事など約八九％を発注。

錦岡、中央鉄南、明野、沼ノ端地区などの排水管布設、西町下水処理センターの中央監視制御設備更新など約七七％を発注。自動車運送事業

利用者確保のため熟年定期券、通学フリー定期券の販売や、中学生ワンコインバスを継続し、新たにエコ定期制度を開始。また、利用者サービス向上のため、バス待合所三棟を新設、老朽化に対応するため中古車両五台を

市立病院事業 新病院開院に向け、本体・外構工事の実施と、医療機器整備を推進。

土地造成事業 ウトナイ地区などの商工業用地二件と住吉地区住宅用地三件を分譲。住吉地区

市営住宅事業 明徳団地に三階建て一棟（三〇戸）の建設と駐車場を整備。住吉団地に一七三台の駐車場を整備。八月には明徳団地で一棟（四二戸）の建替事業に着手。